



防災士
伊藤知子さん

市は、すでにゼッケンの運用を開始しています。

幼児はアレルギーがあると言えません。言えないけれども、目印があると周りが気付き、手を差し伸べてくれると思います。命にかかわる場合もあります。保護者が近くにいるとは限らないですごく重要だと感じています。

炊き出しをしながら、アレルギーの有無を一人一人聞いていたら大変なことになります。サインシールを持ち出し袋に入れてほしいと思います。

長い避難所生活で、支援物資が届く前に確認できる利点もあります。

人と地域とつながる

■伊藤 キーワードは「自助・共助」だと思います。

自分たちのことは、自分たちでやる、自分たちのまちは自分たちで守る、という意識は、すごく大事だと感じました。そして「たち」と思える関係づくりが、日常的にされていることが土台にあるのではないかと

思います。名前や顔を知り、名前を呼び合える関係を日頃から築くことができるかが重要だと思います。

皆さんのお話を伺い、よい関係作りを頑張ることができれば、いいのかなと思いました。

■日當 とても大切なことだと思います。

■伊藤 あとは人を助ける前に、まず自分。防災士養成研修で言われましたが、自分が怪我をしたら他人も助けられません。

■繁名 現場を経験し、本当にそう思います。

■伊藤 いざという時を想定して備えることで、想定外を減らすことができることも、本当その通りだと感じています。

■大石 基本は隣近所。町内でのあいさつも含め、そのような関係を作っていくことが一番大事ではないかと思っています。

自主防災組織や防災士も増えています。なかなか活動しきれていない部分もあるかもしれません。

■市長 おっしゃる通り組織を作っただけでは、どうにもなりません。勉強会や情報交換の場は必要だと思います。

■大石 長内の中でも、つながりの輪を作っていく

いとは思いつながら活動しています。

できることから始めよう

■市長 どのような災害が起るかわかりません。津波の際、自分と家族の命をどうやって到達時間までに守るかということ、自助として、意識していただく必要があると思います。

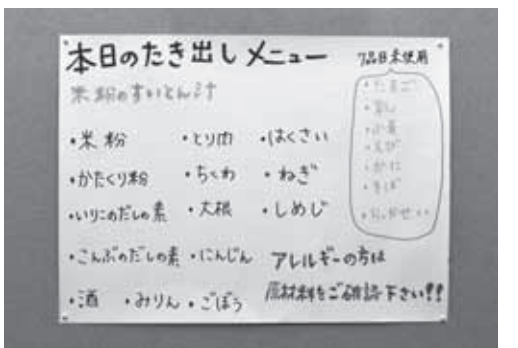
自宅でする防災として、家具の固定と耐震化を、実施いたしたいと思っています。

■繁名 以前は、災害は忘れたところにやってくる、と言われていましたが今は前回の対応が終わる前に、次の災害が起きることも珍しくありません。

自然の猛威には我々の力ではどうすることもできませんが、備えることはできます。

地域の皆さんと力を合わせ側溝をきれいにするなど、普段からの行動で被害の程度が変わってくると思います。活動しています。

■廣崎 大雨の場合、市の降水量が少なくても、上流



が大雨の場合、あつという間に水かさが増し、車も走れない場合があります。雨雲や河川などの情報を把握し、早期に避難を心掛けてほしいと思います。

■伊藤さん 私自身、赤字奉仕団員でもあり、炊き出し訓練も経験しています。アレルギー対策では、原材料の表示や現物を置くなど、具体的な方法を学べました。訓練を重ね、表示することを当たり前にしていきたいと思いました。

■日當 心の声を引き出すことも大切だと思います。人は「大丈夫ですか」と言葉をかけると、とっさに

て、刺激をいただきました。ありがとうございます。

す。とても有意義な会となりました。命をどう守るか。市としても、お話を聞きながら進めていきますので、これからもどんどん、発言をさせていただきたいと思っています。今日はありがとうございました。

それぞれの思い

■繁名 とても有意義な会でした。東日本大震災でも避難後に海に戻り、被災した人もいます。まずは自分の身を守る。市民の人も防災に強い意識を持っていたければと思います。

■廣崎 消防団員が減少しています。これまでも団員の勤務先である事業所から

協力を頂いてきましたが、今後も積極的に協力していただきたい。訓練を重ね本番に備えることも消防団の役割だと思います。

■大石 いろいろなお話を聞き、話すことができました。さまざまな訓練を実施しましたが、アレルギー対策まで手が回っていませんでした。知識がないので勉強会などの機会があれば、参加したいと思っています。

■日當 いかにか心の声を吸い上げるか、市の防災講演会などで、取り上げていただきたいと思います。私自身、まずは避難の周知を頑張りたいと思います。

要配慮者の速やかな避難には、平時の準備やSNSの活用など何かとつながることが必要だと思っています。今回皆さんとお話ができ



久慈市長

防災行政無線を電話で確認

防災行政無線の放送内容を電話で確認できるサービス。通話料金はかかりません。

フリーダイヤル

☎0120-62-1281

防災メールマガジン

「防災メールマガジン」に登録すると、スマートフォン、携帯電話、パソコンから、「防災行政無線放送」の内容をメールで受け取ることができます。サービスは無料で利用できますが、情報の送受信に関わる通信料は利用者の負担となります。



▲携帯電話用



▲スマホ用

テレビのdボタン

テレビのリモコンにある「dボタン」をご利用ください。各種警報や雨雲の動き、河川の水位情報、避難情報や避難所の開設状況など、さまざまな情報をテレビ画面で確認することができます。

重ねるハザードマップ

国のハザードマップポータルサイト「重ねるハザードマップ」は、住んでいる地域の避難所や津波浸水、災害のリスクも確認することができます。



▲スマホ用

迫る災害を一目で確認

土砂災害や浸水、洪水災害の危険度が一目でわかるキキクル。情報は10分ごとに更新されます。▲スマホ用



アレルギーポータルいわて

さまざまなアレルギー疾患の特徴や治療方法などの基礎知識についての情報をまとめた県のアレルギーサイト。災害が起こったときの相談機関や備えなどの情報も掲載されています。▲スマホ用



▲スマホ用